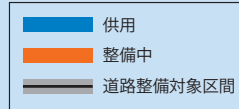


幹線道路整備事業

2012年度～2017年度

- 新潟鳥屋野線や駅南線の工事を進め、順次部分供用しました。
生活道路への通過交通の流入が抑制され、環境の改善が図られています。



整備後の駅南線(けやき通り) (2014年5月)



2018年度～2021年度

- 立体交差道路として、新潟鳥屋野線が最初に開通しました。
古町地区と駅南地区を結ぶ幹線道路となります。



整備後の新潟鳥屋野線 (2020年3月)



2022年度～

- 高架橋完成後、隣接する工事の事業進捗を踏まえ、出来島上木戸線、新潟駅東線、新潟駅西線、明石紫竹山線の整備を進めていきます。



現在の明石紫竹山線の混雑状況



明石紫竹山線 完成イメージ



東跨線橋が撤去され、道路が平面化されることにより、交通の流れが円滑になります。また、冬期間の安全性が向上します。